

考えつくことを全て対応

あなたの家で考えて見ます。アパート、マンション、一軒家でも、あなたの持ち物とします。天ぷらを揚げているときに、地震が発生し、天ぷらの油に火がついてしまいました。

天ぷらを揚げているときに地震が発生することは、想定外と思うかもしれませんが。

しかし、過去の事例から考えても、充分起こりうる事態になります。

近くに消火器を備えていますか、自動でフードの中の消火器が作動しますか、スプリンクラーが稼働しますか、厨房内の壁、天井、フード内は延焼しない材質になっていますか。

火が発生したときに、警報が鳴るようになっていきますか。

危機管理の基本は、起こりうる事を考え、そのとき出来る事を全て行う事です。

人材を育てているか

火事が起きたらどうしたらいいか、頭の中で理解していても、体が動かない場合があります。車のタイヤがパンクしても、スペアタイヤの取り替え方、ジャッキアップの方法など、経験していないと出来ない場合があります。そもそも、スペアタイヤが重たくて、持ち上げられないかもしれません。

危機に直面したときに、過去に経験してきた事を生かして、どのように行動すべきかを常に考え、動ける人間を育てておくことが必要なのです。

私も、目の前の部屋が火事になった経験があります。消火器では、消すことが出来ず、消火栓からホースを持ち出して水を出そうとしたのですが、水が直ぐにはせず、火災報知器のところで、水を出すスイッチを入れないといけないと思いだし、対応したのです。

過去に、ホースから水を出す経験があったからこそ、出来た対応でした。

利益を優先していないか

スーパーの非常口、避難用の階段を見ると、在庫の商品が山積みになっている光景を目にします。「火事なんて起きるわけないよ」。共同ビルの避難階段に商品が積まれ、非常ドアが開かずに亡くなった例もあります。「私の工場では起きるわけ無いよ」と考えるのか、「起きるかもしれないから備えよう」と考えるかが、組織の責任者の倫理感になります。

法律で定められていないと、行わない責任者は多数います。

「火事なんて起きないから、消火器なんて消防の検査が終われば外していいよ」と言う責任者の基であなたは、働きたいですか。

[食品工場の危機管理の基本](#) [危機管理センターについて](#) の [目次に戻る](#)

こんな事が聞きたい方は [連絡先](#) から お願いします。



<http://ja8mrx.o.oo7.jp/koujyou1.htm>